

報告

技術者のミライ研究委員会

平成 30 年度(設立 2 年目)の活動報告(総括)

木 本 光 則・千 葉 裕

1. はじめに

平成 29 年 1 月 27 日に発足した、北海道本部の 6 番目の研究委員会「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)ですが、おかげさまで 1 期 2 年を無事に終え、この 4 月から 2 期目に入りました。活動状況等は各号のコンサルタンツ北海道の活動レポートとして報告させていただいているとおりですが、改めて、本会発足の背景や目的等を概説するとともに、設立 2 年目であった平成 30 年度の活動結果等を総括します。

2. ミライ研の活動目的等

(1) 活動目的と内容

ミライ研の活動目的や内容は以下のとおりです。

〈活動目的〉

- ①高等教育機関の理工学系教育現場(大学・高専・工業高校等)における支援事業活動を通じて、技術士資格(制度)の説明と理解促進、技術士の知名度向上を図るとともに、技術者・技術士を目指す学生(未来の技術者)等を増やす。
- ②あわせて、この支援事業活動(講演等)を通じて技術士自身も未来を見据え、若手技術者が生き生きと働くために必要な環境づくり(意識改革、人材育成等)について研究・実施する。

これらのことにより、技術士会活動の活性化に寄与することを目的とする。

〈活動内容〉

- ・「技術士を知ろう！」(出前講座)の実施
 - ※青年技術士交流委員会(青技交)にて試行していた「理科系教育現場における支援事業」を引き継ぎ、本格実施へと移行。

- ・大学、高専等の教育現場支援を含む環境づくり

(2) 「技術士を知ろう！」(出前講座)の概要

理工学系教育現場への出前講座「技術士を知ろう！」は、平成 20 年度より青技交において試行し(旧：学校へ行こう！)、平成 29 年度よりミライ研にて運営等を担当しています。実施目的は対象現場(大学、高専、工業高校等)のニーズに合わせて調整等を行っていますが、概ね以下の 3 点を基本として実施しています。

- ①理工学系学生の“理工学系離れ”の抑制(卒業後の就職等)
 - ②専門授業を受けた学生自身のキャリアデザインの一助(将来のイメージとして)
 - ③技術士資格(制度)の説明と理解促進、技術士の知名度向上、資格取得の重要性、技術者・技術士を目指す学生(未来の技術者)等を増やす
- また、青技交での試行時代を含め、これまでの実施経緯等は表-1 のとおりであり、近年は年間 7 ～ 8 回の実施と、多くの教育機関等からのオファーをいただいております。

(3) 「技術士を知ろう！」の実施体制と要点

出前講座「技術士を知ろう！」は、ミライ研で運営を担当しながら、講演者は青技交に協力を依頼する形で、連携して実施しています。これは、学生に近く、実務を最前線で担当している若手・中堅世代の言葉の方が学生に届くと考えているためです。

また、講義を専門とするプロの講演ではないため、1 名当たりを最大 20 分程度、複数名の講演で構成し、学生に飽きられないように工夫しているほか、

表-1 「技術士を知ろう！」実施経歴

年度	年月	対 象
H20	H20/10	北海学園大学 工学部 社会環境工学科 (3 年生)
	H21/2	旭川工業高等専門学校 ※学内 希望者を対象に実施
H21	H21/11	北海学園大学 工学部 社会環境工学科 (3 年生)
H22	H22/12	旭川工業高等専門学校 ※学内 希望者を対象に実施
	H22/12	北海学園大学 工学部 社会環境工学科 (3 年生)
H23	H23/10	北海学園大学 工学部 社会環境工学科 (3 年生)
H24	H24/11	北海学園大学 工学部 社会環境工学科 (3 年生)
H25	H25/11	北海学園大学 工学部 社会環境工学科 (3 年生)
H26	H26/10	北海学園大学 工学部 社会環境工学科 (3 年生)
H27	H27/10	旭川工業高等専門学校 機械システム工学科 (4 年生)
	H27/10	北海学園大学 工学部 社会環境工学科 (3 年生)
	H27/12	函館工業高等専門学校 社会基盤工学科 (3 年生)
H28	H28/6	北海道科学大学 工学部 都市環境学科 (1 年生)
	H28/6	旭川工業高等専門学校 全学科 (3 年生)
	H28/6	北海学園大学 工学部 社会環境工学科 (1 年生)
	H28/8	函館工業高等専門学校 社会基盤工学科 (3 年生)
	H28/11	北海学園大学 工学部 社会環境工学科 (3 年生)
	H28/11	札幌工業高等学校 土木科 (2 年生)
H29	H29/5	北海道科学大学 工学部 都市環境学科 (1 年生)
	H29/6	北海学園大学 工学部 社会環境工学科 (1 年生)
	H29/8	函館工業高等専門学校 社会基盤工学科 (3 年生)
	H29/10	札幌工業高等学校 土木科 (2 年生)
	H29/11	旭川工業高等専門学校 機械システム工学科を除く 3 学科 (3 年生)
	H29/11	北海学園大学 工学部 社会環境工学科 (3 年生)
	H29/11	秋田工業高等専門学校 社会基盤工学科 (4 年生)
	H29/12	苫小牧工業高等専門学校 環境都市工学科 (3 年生)
H30	H30/5	北海道科学大学 工学部 都市環境学科 (1 年生ほか)
	H30/6	北海学園大学 工学部 社会環境工学科 (1 年生)
	H30/7	苫小牧工業高等専門学校 環境都市工学科 (3 年生)
	H30/8	函館工業高等専門学校 社会基盤工学科 (3 年生)
	H30/10	札幌工業高等学校 土木科 (2 年生)
	H30/10	北海学園大学 工学部 社会環境工学科 (3 年生ほか)
	H30/12	秋田工業高等専門学校 社会基盤工学科 (4 年生)

※平成 29 年度よりミライ研で実施。平成 20 ～ 28 年度は青技交で実施（試行）。

必ず事前にミーティングを行い、学生に伝わる内容になっているか等のプレゼン内容のチェックを行っています。

3. 平成 30 年度の活動報告（総括）

(1) 「技術士を知ろう！」本格実施での改善点

青技交での実施（試行）からミライ研での本格実施に移行するにあたり、従前からの工夫等に加え、学生からの「フィードバック」を行うためのアンケート調査の実施を追加・改善しました。具体的には以下の 2 つの目的で実施しています。

①実施した出前講座「技術士を知ろう！」の評価、振り返りと今後の改善策の検討への活用（フィードバック）

②出前講座「技術士を知ろう！」等の対外活動での対象者（学生等）の意識変化

特に 2 つ目は、ミライ研の活動に関する日本技術士会北海道本部の成果指標としての活用も視野に入れて設定しています。

(2) 「技術士を知ろう！」活動報告

平成 30 年度の出前講座「技術士を知ろう！」の活動を総括すると以下のとおりとなります。

なお、個別の活動報告はこれまでのコンサルタンツ北海道における活動レポートを参照いただければ幸いです。

〈対象校、学生数〉

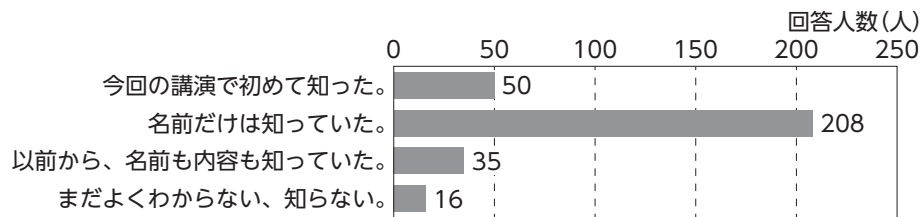
- ・平成 30 年度は 6 校 7 対象に実施
- ・出前講座の聴講学生数合計：317 名
（アンケート回収数よりカウント）

〈アンケート〉

- ・わかりやすさ＝4.41 (5 段階)
満足度＝4.42 (5 段階)
※5 がわかりやすい・満足、
1 がわかりにくい・不満
- ・「技術士」を初めて知った、名前だけ知っていた
＝258／309 (有効回答数)＝83.4%
- ・「将来技術士になりたい」との回答
＝251／314 (有効回答数)＝79.9%

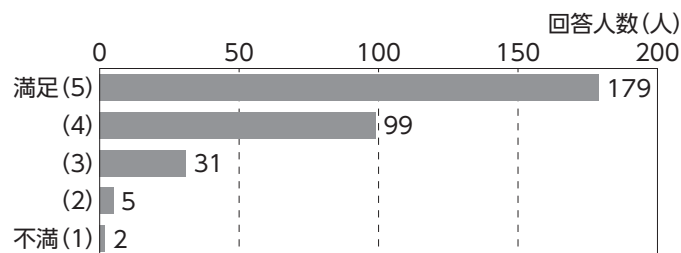
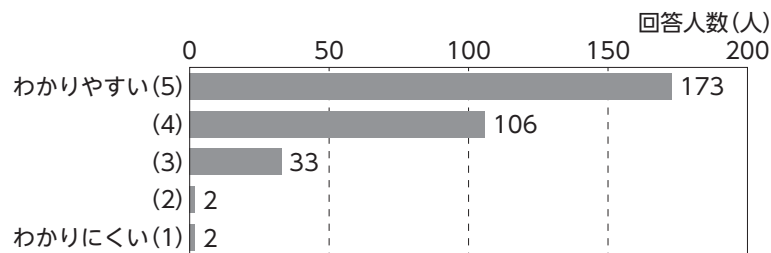
Q. 「技術士」という資格は知っていましたか？

(択一式回答)



Q. 今日の講演を評価してください。

(5段階評価回答)



Q. 将来、技術士になりたい？

(択一式回答)

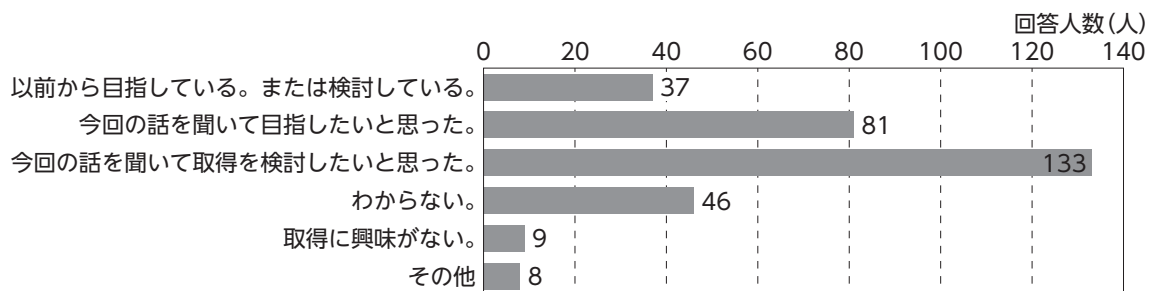


図-1 出前講座「技術士を知ろう」実施時アンケート結果(総括)

※平成30年度実施6校7対象、アンケートを回収した317名対象にした実施結果
(記入なしの回答もあったため、各項目の合計値は回収枚数と合致しない)

〈準備等〉

- ・事前のプレゼンミーティング=計6回
- ・ミライ研の幹事会=計2回

(3) 座談会「技術士と話そう！」の実施

出前講座「技術士を知ろう！」とあわせて、青技交時代より試行してきた取組として、出前講座終了後

に学生と懇話を行う座談会「技術士と話そう！」という企画があります。出前講座「技術士を知ろう！」においても、講師からのプレゼンを聴講するという一方通行のコミュニケーションを補う策として質疑応答の時間を設けておりましたが、座談会形式をとり、より双方向のコミュニケーションを図ることで、学生の卒業後の進路を考える機会・きっかけを作った

り、技術士という資格を知ってもらう目的で、学校側の了解を得た際に実施してきました。

平成 30 年度は 10 月の北海学園大学と 12 月の秋田工業高等専門学校 の 2 校で実施しました。各校の活動レポートに記載のとおり、アンケート等の結果は確認していませんが、概ね目的は達成できたのではと認識しています。

4. おわりに～今後のミライ研活動に向けて～

怒涛のように駆け抜けた 1 年目を終え、2 年目でもようやく活動も軌道に乗ってきた感が出てきました。青技交から無事に移行することができ、各校や青技交の協力はもちろん、日本技術士会北海道本部の会員・会友皆様に多大なるご声援・ご助言等をいただき、無事に 1 期 2 年を過ごすことができました。この場をお借りして、皆様に感謝申し上げます。



写真-1 出前講座「技術士を知ろう！」の様子
(北海道科学大学での実施状況)



写真-2 座談会の様子（北海学園大学での実施状況）

す。

2 期目を迎えたミライ研では、今後、この「技術士を知ろう！」企画に加え、新たな理工学系教育現場の支援事業活動等に着手しております。その結果はまた活動レポート等で報告できればと考えております。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

表-2 第 1 期 技術者のミライ研究委員会体制

代 表	小澤 正志(総監／建設)
幹 事 長	木本 光則(建設、環境)
幹 事	千葉 裕、永井登茂美、 平岡 城栄、西村 力哉、 鈴木 敬一、滝澤 嘉史、 仁田 智、朝日 孝輔、 三吉 憲一、寺西 一也、 益子 直樹、永田 泰浩、 宮下 謙次、源野 雄輔、 堂領 弘昌

2019 年 4 月 30 日時点

木 本 光 則(きもと みつのり)

技術士(建設／環境部門)

技術者のミライ研究委員会
幹事長
株式会社ドーコン
交通事業本部



千 葉 裕(ちば ゆたか)

技術士(建設部門)

技術者のミライ研究委員会
幹事
株式会社北海道水工コンサルタンツ

